

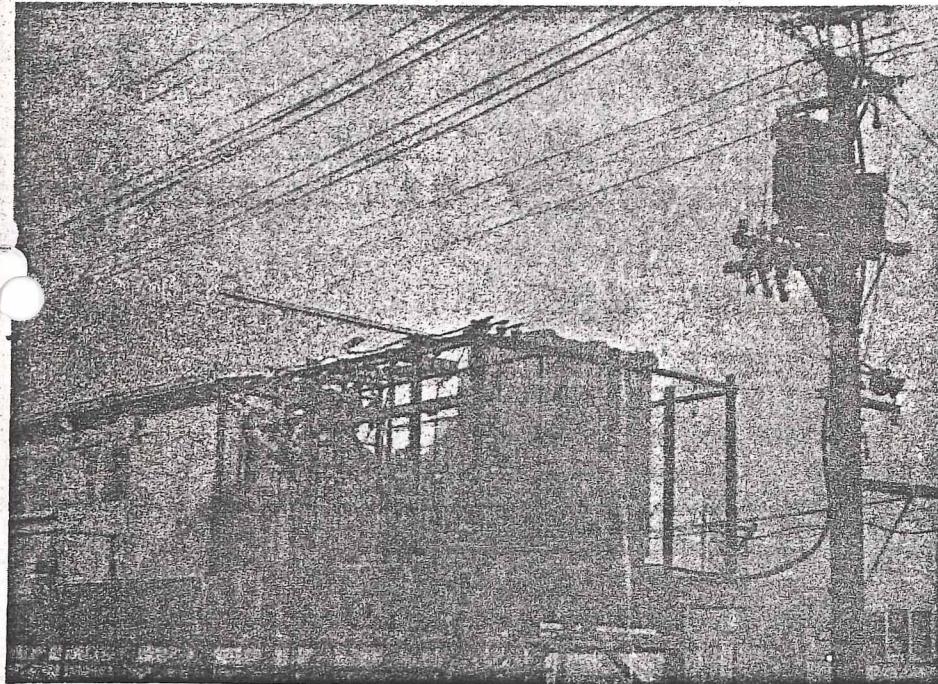
いなづま

発行所 函館地方電気工事工業協同組合

住所 函館市新川町31番11号

編集人 荒井孝一

印刷所 有限会社 豊國堂印刷



(四)百貨店新築現場

謹
賀
新
年

「新年のあいさつ」

理事長 小寺寛一

新年おめでとうございます。



一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にありと昔から言い古された格言であります。この言い古された格言も、新年になりますとなぜか一種の新しさが漂ってまいります。

どうもお正月には、ほかの言葉よりもこの「一年の計は元旦にあり」と言うのが一番ぴったりと気分に合う名格言のようございます。

函館地方電気工事工業協同組合は、昨年十月十五日、創立満二十周年の栄誉ある記念祝賀を挙行致しました。単に二十

年と申しますが、その歳月は実に長いもので、出生した子供が成人に相成ったと同じです。組合創立当時は、人心はもとより、終戦直後の政治的にも、経済的にも困難の極にあった頃で、業者が団結して仕事をしなければ生きていけない情勢でしたから、勿輪組合員数は十数名で、組合費は確か月千円だったと思います。事務員の給料と諸雜費で予算の取り様もございません。役員の皆様方は各人負担で仕事をして戴いたものです。電工さんもほとんどがリヤカーで、工具や材料を運搬し、自転車を持って仕事をする工員さんはごく稀に見る位ありました。それでも立派に仕事をし、能率をあげたものです。それが年と共に経済の発展に従い、機械力の進歩と相まって最近では、自動車の持たない業者は皆無と言って良い程です。又その上に建柱車迄使用して仕事の能率を上げている現代です。

組合の仕事をもこれはと言って取上げる事業も無い様な氣もしますが、実際には常に新鮮な発展をしているのであります。現在組合員の数は、実に百五十七名に

なって居り、大同団結と言う事は一番困難のともなう事業でございます。それに至しましても、組合事務所の新築の件、工事士の免許の件、事業内訓練所の設立、北海道電気工事工業組合の発足等、丁度リヤカーが自動車に変った様に組合の事業も変遷してまいっております。従って組合の創立二十年の歴史は決して無意味なものではなく、立派に其の責を果していふと考えます。今年の工事組合としての抱負は、この百五十七名の組合員がいかに大同団結して事に当るかということで、このための結束をする事が一番の急務と考えます。あらゆる組合及び団体組織がありますが、どれにしても、団結が一番大切な事であり一番困難の伴なう仕事です。今後組合員の皆様方の心掛け次第では容易にこの困難も克服出来得ましょ。本年は組合員皆様のお互いの融和を計り、小さな力を集結して大きな力となし、組合員各位の福利のために役立たしめるよう努力致しましょ。

組合機関紙「いなづま」創刊一周年の新しい年を迎え、一言所懐を述べて新年のご挨拶と致します。

末筆乍ら益々組合員各位のご発展をお祈り申し上げます。

晩秋の候とは曆の上ののこと。白嶺々の千山万岳となる日も間近。組合員各位は最多繁期に突入して3ヶ月もはや過ぎ、年末もそこに近づいて何かしら気忙しい今日此の頃となりました。どうか各位が安泰で仕事を終え、すがすがしい気分で新年を迎える事を祈念しつつ、その後の活動状況をお知らせ致します。

(1) 第1回臨時総会について

去る10月15日10時半より駅前拓銀ビルにおいて開会、出席者77人委任状26人計103人の議決数をもって次の経過となりました。

イ挨拶 小寺理事長より組合創立式1周年を迎えるに至った主な業績について又本臨時総会を開く目的について挨拶並びに説明あり議案に入る。

ロ小口金融制度について

泰平電気伊東幾郎氏より配布のプリントに依り提案の理由を説明し、次の質疑意見が提出されました。

①申込みより貸出迄の日数が長すぎる

②1口10万円は少なすぎる

③融資枠の参百万円はどうして決めたか。

④手形割引きを考えていなか以上に対し小寺理事長及び梶原専務理事より、(1)について毎月14日〆切りであり、役員会が第3火曜日となっているので拾日間の日数をみたが、出来るだけ貸出し迄の日数を短縮する様努力する。

(2)(3)について

組合手持分より融資するので参百八拾万の保有高よりみて最高限度を参百万とすることに決定したものである。

⑤について

組合としては最初の融資制度なので、未経験は理事者組合員共お互様であるから、今の段階では考えていない。以上の様に解説、その他規約上の若干の質疑を経て原案通り全員の挙手採決に依って決定されました。

ハ標準料金の順守について

小寺理事長より、最近標準料金の順守状況が甚だしく乱れているので、健全な経営を確立維持する為には更に一段との順守方について、組合員諸子の自覚を促すとの発言がありました。

ニ小メーターの取扱について

梶原専務理事より北海道計器工業KKの扱い方法其の他について説明あり、正后予定通り総会を終了し午後の二拾周年記念式典に移る。

⑥組合創立式1周年記念式典及永年勤続者表彰について

午後1時30分より同会場に来賓組合員及永年勤続者百数十人出席のもとに開式せらる。小寺理事長より式1周年を迎えるに至った主要なる行事業績について挨拶並に謝辞を述べ次の各位が表彰状及び記念品を贈られました。

山組合功績者として

○理事長小寺寛一は連合会役員として全道業界に尽した功績に依り(連合会)

組合だより

(横田)

○専務理事梶原邦夫及理事竹内八郎は永年にわたり役員として組合に尽した功績に依り(組合)夫々褒賞され、(永年勤続者として、(拾五年以上)太陽電気板谷省三、(旭電気)谷口節夫、佐藤輝男、以上三名(拾年以上)北弘電社大久保景司、七戸きみ、当木総次郎水上俊朗、佐藤幸夫、(北斗電気)長野幹夫、(横井電気)横井邦夫、(樺電工業)日計英夫、(泰平電気)村田能弘、(共栄電気)鈴木玲子、(昭和電気)熊谷政太郎、(池上電気)池上光男、(鶴谷電建)品田幸男、(三興電機)堀田久美子、中島実、加藤茂喜、(タマツ電機)中村稔、(日本電設)小関秀松、一条一郎、(昭和電気)木津谷敏美、以上式10名以上の方々が永年の功績を讃えられ、小寺理事長より賞状並に記念品を贈り旭電気佐藤輝男君が答辞をされました。次いで祝宴に移り盛会裡に午後四時式典を終了することが出来ました。ご多用中ご来臨の榮を賜わりました川尻渡島支店



長様以下23人の来賓の方々北見、旭川、札幌方面協同組合代表者各位に対し紙上を以て厚くお礼を申し上げます。

尚北電支店長様以下多数の各位より祝儀、お祝いの品々又祝電等を頂戴し誠に恐縮に存じています。

⑦第七回役員会の主要議事について
(第六回役員会議事は略)

○連合会役員会報告抜粹

1.全日本電工連は当業界の実情よりみて、労災保険料が高すぎるので値下げを関係官公庁に申請をした。

2.北電単価の値上げについて

先に細部の資料はお手許に差し上げて居ますが、附帯工事としてではなく単独工事として単価を算出するよう、北電側に申し入れることとなりました。

○求人状況について

横田事務局長より最近の管内の求人状況について説明報告をなし、中学生就職希望者の激減により遂次高校卒業者及び中高年令者層に切り替えてゆくべき旨の意見を述べ。その他最低賃金法の一部改正要點と独禁法の最近の諸問題について概要の説明を行った。

◎新規加入申請者の取扱いについて既に申請書提出中の七人について実体調査報告あり、北電に推薦することとなりました。

◎金融制度について

先に制定された貸付規約について「取扱い手続きを更に簡易に出来ないか」という質疑あり議論を交したが、初回でもあり、金融の本質上現行規約で良いという結論となりました。

◎従業員の作業帽子について

従来制定のものは逐次新規のものに替えてゆくこととし、次回迄にサンプル作製し検討することとなりました。

◎卓越した技能者の表彰について

道は開道百年を

記念し、去る11

月23日勤労感謝

の日をトし道知

事より「卓越し

な技能をたたえ

て」として八拾

余名を表彰し、

業界より北斗電

気熊谷浩四郎君

が受賞致しました。

同君は大正

11年生れで、海軍機関科、同工機学級出身で式10年余にわたり、北斗電気に勤務し現在当訓練課第三学年主任指導員で、最終学年の訓練責任者としての重責に在り又技能五輪大会競技審査員の経験があり、心から同君の功績をたたえ、今后共益々業界発展の為努力される様希望すると共に熊谷氏に今日の栄誉を与える環境づくりに日夜努力された北斗電気KK社長以下特に工事課長以下各位に対し厚く謝意を表します。

◎技能尊重推進協議会について

去る9月5日及11月28日この会議がもたれ、業界として組合及訓練所が会員として入会し、若い労働者の技能を尊重し、たかる運動を推進する事となりました。

◎事業内訓練所関係

◎労働大臣表彰について

この度職業訓練法施行1周年記念に際し当電気工事訓練所は「優秀共同訓練団体」として大臣表彰を受けることとなり梶原訓練所長が11月25日上京の上之を戴いて参りました。過去五年間に亘り運営に努力された訓練所長、講師、指導員、事業主各位又御協力下さった北電、総訓友誼団体各位と直接指導の任に当る渡島支店商工労働課長以下福祉訓練係各位に対して、厚くお礼を申し上げると共に、今后共偕旧の御鞭撻をお願い致す次第です。訓練生諸君は、毎日忙がしいなかに技を磨いていると思いますが、最近事業所を訪ねてみると、卒業生、在所生とも上司との応待挨拶が活発を欠いている様に見受けますので、もっとはっきり、きびきびと若人らしい仕事振りをして欲しいと念願するのは小生一人ではないと思います。

新年より参月末迄は充実した訓練が待ち受けているので、張り切って之を乗り切れる様望んで止みません。



●私の経歴●

株式会社 松山電気工業 上戸常蔵



私は幼少の頃より働き者であったので年頃になると、それを見こまれて、婿養子の口が殺到し、小糠三合持つたら何とやら、婿をきらって、樺太は東海岸知取町に住む親戚を頼って家出同様にして故郷をとび出した。当時樺太は王子製紙の全盛であつて、いくらでも人手を必要とし、すぐに入社出来たものである。電気部へ廻され将来は技術者として身を立てようと思多く大いにハツスルして働いたそれが又運良く上司の目に止り敷香工場の電気部へ転勤したのが昭和8年6月、こんな情態で兵隊検査も鹿原で受け故郷へ帰らずじまいであった。然し敷香の工場も永くは続かなかつた。といふのは9年先輩2人が同じ月に高圧に掛り目の前での大事故が有ったのである。それ以来電気屋がいやすくなり早々に退社してしまつた。そして父兄坂に舞戻して来たが、良くしたもので通信省へ入らないかとさそはれ、知取へ就職10年本採用となつた。そして12年先輩の妹である家内と結婚、13年に長男が生まれますよ順調であったが、またまた、敷香工場在勤当時の上司であった宮崎氏が満洲へ行って居り、是非一諦に仕事をしないかと、半ば強制的にさいの手紙が舞込んだのである。此の宮崎氏は大変私を可愛がってくれて居たので私も心引かれるものがあり家内へ相談したら、家内も兄妹が春天に居たのであってか双手を上げて賛成早速通信省は円満退職返つて添書を付けて貰つたのである。そして勇躍、単身渡渉した。昭和13年3月南満洲鉄道新京電気部、強電より弱電、弱電より強電と、全く我ながら流転そのものの変転極りないといへば此の満鉄も半年足らずで止める幸運がやって來た。その時は、自分程ついて居る者はいだらうと内心ほくそ笑んだものである。ある時、クリーを連れ市内の支障木伐操作業中、豪壯な邸宅前であった、丁度昼食時だったと思う此の家の主らしき人物が自家

用車で帰宅し私達の作業振りをじっと見て居たが、私の東北語りを聞き止めてか、私をお茶に招じ入れ応接間へ通された。

諸々の話で、此の人は新京郵政次長北海道は函館出身、私が満鉄の待遇の良くない事を話し、君を満電へ紹介しようと、早速満洲電信電話株式会社、即ち満電へ入社、チャムス行きがけり、やっと家内と子供を呼ぶことが出来記念に髪をたくわえ、以来毎年おやじで通つて来た。満電には22年秋引揚迄(抑留1年)恩恵に仰したものである。内地の故郷へ帰つたもののその一日目が筆舌に尽せない苦しみの連続、それは、外地引揚のとなつたものが味わつたことだろう。……が私にはあまりにも恵まれ過ぎた外地での生活が、そう思はせたのかも知れない。漁師もやつた農家手伝そして土建の下請、そのどれもが一時の糧を得る為のものであつて、身に付くものではなく、半ばやけ氣味になり、みまくり、家内や子供を泣かせたこともあった。然しある時日本電建(共栄電気の前身)に雇われ松崎氏を知つた。氏の鋭敏な才能は此の頃から發起されて居た。松崎、久保田政男、千島(現電通勤務)の各氏と私達が共栄電気の土台を造つたとも言える。沢口佐奈男氏を社長に迎へたのも此の頃だったと思う。そして共栄電気が誕生したのであるが、私の生活は依然苦しく家内の発病で金が必要となり、いくばくかの投資金を戻して貰い医療費に当て、これを機に私は共栄電気を退めた。独立を考えたのだから上磯の巴電気田中時次郎氏の名儀を借り随分とお世話をした事は忘れない。

堀川氏と、義弟の合浦が見習として来てくれたので、私もこれからだ、今度こそと、自分のすべてを掛けて働いた。だが世に奸事多しとか、突然大きな不幸が訪れたのだ堀川氏の感電死。私の氣魄は一瞬にして崩れ去ったかの感で目の前か真暗闇迷路に入ったも同然、だが家内のはげましで立ち上つた。昭和30年の頃だったと思う。

34年沢口氏が共栄を退めて居たので、2人で組み完全な独立の形となり沢口開電社と名乗つたのだ。事情により35年桧山電気を改め本当の姿になった。34年4月有限会社設立弟浦舎、長男を札幌から呼び又次男も東京から呼び満洲時代からの鉱さんのアダ名で北電さん、又各業界の皆さんから御指導御鞭撻を受け今日に至つて居ります。

(江差よいとこ)

共栄電気工業株式会社 松崎義雄



唄の文句は数々あれど江差追分日本一・銘菓羊かん数々あれど江差の五勝手羊かん日本一・美林銘木数々あれど江差アスナロ自然林道内唯一ヶ所・智者頓智者数々居れど江差の繁次郎日本一・と言う諺で、繁次郎が存命ならば以上のようなことを言うだらうと思う。御承知の如く、全国NHKのど自慢大会で日本一が江差追分節で2人居る。二位三位は數人出ている。又五勝手羊かんは生産の半数以上を、関東、関西へ移出して居る。アスナロ又同じく道内には此の地方一ヶ所より生存していないのです。

アスナロとは別名ひば・松とも言う(本洲の松、ひばとは、材質が違うとのこと)特色は内地の松・ひばより匂いが良く非常に丈夫な木で昔から名家などは松縁で建築したものです今では珍しくなりました。今は主に土台・柱等に珍用され此れ又生産の半数以上が原木・製材で内地に移出されて居る由又単価も他の松材より二倍以上も高価なのです。此の生存分布状態は江差町、上国町、厚沢部町、(上磯町茂辺地にも一部ある)四町にまたがり自生して居るのです。此の地方を松山郡と言うそして又松山支庁所在地でもある。称して松山郡、松山支庁と名付たのも此のアスナロ(松)から取つたものだそうです。昔鮫漁はなやかなりし頃(江戸時代)江差の五月は江戸にもないと全国津々浦々から豪商達が集り大いにぎわいを見たそうです。今は其の面影もかぞえる程よりなく、私の知る由もないので御座います。以来年々人口の減少を見て現在に至つたのですが、昭

和二十年(戦後)以来近代会社の進歩の波に遅ればせながら、当方も其の恩恵に浴くし徐々ではあるが現代建築並に当時を想起されるせまい道路も改良、舗装と進行しつつあるのです。

当松山支庁管内は、北部桧山、南部桧山といつの代からかそういう名がある。北部桧山とは今金町、北桧山町、瀬棚町、大成町、南部桧山とは南から、上の国町、江差町、厚沢部町、乙部町、熊石町となるが、道南以外の旅のつづれにのれんをくぐりドアを押し美女が側へ来る酒の肴によもやま話しお内故郷の話も出る。ねいさんどこよと問えば「江差よ」と答える江差では君の様な美女見たことないなと言えば、お客様さん江差とする。そうだよ、私久遠のあそこよであつたり、熊石、乙部、厚沢部、上の国があつたりする。中には江差の方の松前よと言いう美女も居る。此の美女たちと会うたびに、北部桧山の一部南部桧山全部が江差になつてしまう。又其の数も道内本州合るとそうとうな数だと思う。いかに当地方は産業がないけれども江差の男子が皆かいしょうがないのかなあと思つたりする。でも此の美女達は異句同音に江差はよいなあと言つてくれる。此んなに母船が遠洋航海をしている。

それだから当地方は人口が少くなるのだなあと思つたりする。其の中で電気屋だけが年々増加して来るのはどう言つてだろうと繁次郎はふしげに思つて居るに違ひない。しかし繁次郎は言う江差の電気屋さん(13社)一生懸命がんばつて早く母船を基地に呼戻すように世直しをしてくれとなあ。又繁次郎はこうも言つた。じっこ、おど、おどこ、あんちや、あにや、わらし、ばば、かか、あや、よめこ、ねね、あねこ、皆んなしっかりやれとなあ。これ解るべかなあ。ベコ、じっぱり、わちかうだで、けろ、えげ、まだまだえべいあるどもこの辺で私も解らなくなるので機会をみて繁次郎に聞くにきてけれ、ちもる語こもぢぱりあるし江差はよいとこ何度もおいでとね。追記、銅集員の各位には公私共に御多忙の処御苦勞様でした。以後も益々御健斗を御願い致します。

國をはなれて、えぞ地が島え
いくよねざめの、波まくら
朝な夕なに聞ゆるもの
友よぶかもめと波の音
哀調、せつせつたる追分節の發祥地
江差へ我々取材班は、11月22日
午後3時20分発の列車で、出発しました。

夕闇迫る駅頭に下り立ち、汐の香ただよう江差の町の静けさにふと、誰が唄うのか、物淋しい調べにのって、正調追分の哀愁が胸にしみて来るのでした。

桧山道立公園の中心地、江差町は約700年ほど前に江州商人の雇人夫として、東北、北陸から移住して来た人々によって、創られた町である。

ニシンの大漁で、明け暮れた江差町は、「江差の5月は、江戸にもない」といはれた程の暖い活気のある町として栄えたのである。

江差追分、沖揚音頭、もつつき囃等、当時を偲ばせる民謡、民芸が今日につたえられているのです。また、近くには、「北海の江の島」とたたえられる風光明媚な「かもめ島」があり、海上60Kmの所には、夢の島「奥尻島」が浮び、追分節に其の名を唄われる大島・小島も水平線上に浮び、遠く久遠方面の岬も、展望さよる景勝の地でもある。

現在は、静かな港町として、静止しているが、明年より沿岸漁業の基地として、名乗り出すべく港は3倍の広さに、海岸道路を整備して、近い将来には、第二期全盛時代を確立すべく準備が進められている。

では地区組合員を御紹介致します。
江差町には、

共栄電気工業KK 松崎義雄氏

社長松崎氏は、組合理事で江差地区では、親分肌の苦労人であり、世話人でもある。

昭和23年北日本電化工業江差出張所として発足、昭和24年現会社を創立、昭和31年には、函館に出張所を開設、江差地区電気工事の草分けとして、20年余りの実績を残しております。

社長の今日あるは、底辺の苦しみから、うろ曲折を繰返し、従業員と共に苦しみ、共に泣き、共に笑って来た過去が結実したものであると、語ってくれました。

田辺電気工業所 田辺勇治氏

事務所は山の上商店街の入口にあり

ます。氏は泊村出身で、道南電気KKより函館配電KK、北海道電力KKと電気供給畠を歩き、昭和25年北電を退職、今度は受給設備業者として、昭和27年現住所に開業江差地区の民間、官庁と手広く工事をして居ります。

相互電気商会 松原久作氏
松原氏は、田辺電気の向いに松原ラジオ店を経営しておりますが、昭和34年電気工事部を開設、工事部門は、

有本氏金子氏が主体となって、町内の電気工事を施行しております。

上の国には、上の国電気工業所

斎藤氏は、共栄電気出身で、昭和37年地元に事務所開設、乙部町を主として、内線工事に従事しております。

工藤電気工業所 工藤長四郎氏
工藤氏は、北電乙部電業所勤務を最後に退職、其の後竹田電気に勤務、中村屋電気商会の後を引受け、現在に至っております。息子さん2人が協力して、栄浜、乙部市街地を中心に多忙を極めております。

熊石町には、熊石電業社手塚竹四郎氏があり、地区工事の大半は氏の手がかかる程の知名人であります。大成町には有限会社手塚電気があり仕事の方々勿論、ご子息達は皆優秀で評判である。

立花電気商会 立花栄氏は、函館川越電気のセールスマントとして勤務中、久遠美人の現在奥さんを見染て、電化製品の販売店を開設、其の後附帯電気工事の必要性を感じて、今年2月指定業者となり現在活躍中である。以上で、地区組合員の御紹介を終りますが、此の取材に当たり、場所を提供して下さいました。北栄電気の社長を始め、夜分にもかかわらず御協力下さいました組合員には、心より厚く感謝申し上げます。夜もだいぶ

おそくなり、静かに更けて行く江差を後に、臥龍山の丘陵を後に負い、松前藩が將軍慶喜公より、拝領した松を庭に植えて、五厘沢慶喜温泉と名付けた由緒ある温泉旅館に向いました。静かにとろとろと、流れ出る温泉にひたり乍ら、都会のわづらわしさから、解放されて、今日一日、我が生命の喜びに、充分手足をのばしました。

「いなづま」猪刊以来、一年、方には、御協力戴きました、どう、形らしいものを作ることが出来ましたが今後は、より良い編集をする為にも、大いに勉強して、皆様方の愛される、「いなづま」地方により以致したいと念願しております。

是非御協力をお願い申し上げて、筆を置きます。 (工藤義一)



川島勝三郎氏と、扇谷電気工業所、扇谷巳之作氏が、上の国と其の近在を守備地帯として、活躍をしております。23日前中訪問致しましたが、現場へでているとの事で、残念でした。

厚沢部町には、株式会社桧山電気工業、上戸常蔵氏がおります。

当市街地で、ひげの電気屋で通用する程有名な人。共栄電気厚沢部出張所より、沢口電気社となり、其の後桧山電気と名変。息子さん2人が事業に協力、遠く函館市内まで遠征昭和44年春からは、函館市外富岡町に出張所を開設する予定との事で、張切っておられます。氏は来年の地方選挙に町議として立候補するとの事で、電気業者の議員さんが生れそうです。

竹田電気商会 竹田幹雄氏
竹田氏は、残念ながら工事の都合で、取材出来ませんでしたが、郡部と市内をかけ持ちで、張切っておられる様です。

鈴谷電気工業所 鈴谷満紀氏
鈴谷氏も工事の都合で、取材出来ず誠に残念です。

乙部電気工業所 斎藤福雄氏



「私 の 辞 令」

亀田電気 吉岡 堅俊

〔電工見習〕 吉岡 堅俊

辞令 日給 50銭給与

大正7年7月1日

瀬棚水力電気株式会社

此の辞令を手にしてから、吉岡氏の55年間に亘る電気屋生活が始まった。16才の時、お母さんが貯めた1銭銅貨ばかりのズシリ重い袋を持って留辺薬の温根湯にある北見電燈株式会社に入社す。30Kの発電機1台の設備の会社でした。

当時は、配電、送電と区別なく何んでもやらされ、昇柱器もなく4番鉄線にて鍵の様なものを作り、蟹の様になって柱へ登ったとの事です。当時東京から来ている技術屋に仕事の内容を聞くと「お前の辞令を見よ、見習いじゃないか、見て習え」とゲンコツをはられたものだ。現場は美幌峠の時もあったが、現在の様な道路もなく、荒涼たる原野でのつらい、きびしい仕事の連続で景色を眺めている暇はなかった。それより2年、函館に帰り、上磯の浅野セメントに入社。此の時、故北邦電気社長加進氏と同僚として働きました。当時のセメント工場の発電所は廃熱を利用して発電機を運転しておりました。昭和4年セメントを辞めてから函館水電に入社しました。その時の辞令は、

「工手ヲ命ズ 日給1円70銭給与

函館水電株式会社」 その時有名な水電争議があり私も若氣のいたりで相当活躍しました。時の課長葛西民也氏ににらまれ大沼発電所に転勤を命ぜられ、日給15銭下げられました。その時今金の故光生電気社長鈴木忠氏も江差に転勤になりました。爾來大沼に20年おりました。その間に昭和17年に日給2円78銭となり函館水電も北海道配電株式会社になりました。

昭和20年9月に日給が月給に変り、106円になり、21年4月に365円に変り、目まぐるしく変る給料と物価は追いつ追われつの毎日でした。

28年から32年迄は亀田火力発電所と函館保線区に勤め、32年で北電の生活に終止符がうたれました。

だが電気の仕事が忘れられず34年に業界入りしました。若い頃は焼酎を1升も飲んだが、5、6年前より、ドライバーを持つ手があるのが酒の為と思ひ以後一切口にしません。一時菊、熱帯魚の飼育に趣味を持ったが今は全部息子にゆづり専ら電気工事一途に日々を送っております。只私の誇れる事は55年間の電気生活の間一度も感電事故に遇いませんでした。今月の19日で満67才になり、3男2女の子供さん達に囲まれ、白い頭に深いしわの顔をほころばせつつ昔話を語ってくれました。(佐藤輝)

◎ 交通安全について ◎

(佐々木)

10月11日より10月20日迄の秋の交通安全運動が、史上最悪の死傷が出た事は皆さん御承知の事と思います。

昨年の同期とくらべ事故発生件数は100件も多く、死亡者は1人少なかつたとの事で、我々運転者はまだまだ安全運転に力を入れ、明るい事故の無い日を送りたいものである。さて冬期に入り雪道でスリップ事故が多くなって参ります。まず第一番目に注意して貰いたいのは、急ブレーキをかけない事。ブレーキを踏んでも思う通り冬道は止まる事はありません。そこで今日はこの様な事を守りましょう。

◆ 1日目標による安全運動◆

- ◎スリップを防止して安全運転とする日
- ◎キープレフトを励行して安全運転する日
- ◎始業点検の確實完全実施の日
- ◎車間距離を保持する日
- ◎追越し、追抜き、割り込み禁止を徹底する日
- ◎明るい挨拶で楽しい職場をつくる日

〔奥 様 訪 問〕

松崎電気工業所 松崎夫人

訪問中二度電話がかかり二度来客があつて夜も結構お忙しい様に見受けたも道理、奥様は家電器具の販売担当だそうで美容(歩く運動)と実益を兼てセールスや集金で張り切って居られます。「私は口下手で商売向きてないのです」と謙遜されますが知人等を通じて得意先が又得意を紹介してくれるとの事で、最近の家電器具大型スーパー店の影響はあまりない様だと、口数は少い乍らマイペース主義で仲々の自信の様に見受けられました。

「主人が工事ついでに家電の方も話をつけて呉れるといいのですがサッパリなんです」と笑って居られる。

居間事務室を兼ねたリビングには、カラーと白黒TV、ステレオ、冷蔵庫、厨房器具セット、換気扇等々実用的な器具は大半揃っていて来店の折に一目で見える様に実用化してあるあたり商魂の一端がうかがわれます。・・・

帖簿その他経理関係は奥様の担当、「銀行とか税務署、PTAの役員等いやす仕事は全部私に押付けて現場へ飛んで行っています」奥様に云はせると矢張り「暴君」の部に入るのだそうで「仕事の関係もありますが夫婦揃って出歩く事も旅行等も殆どありませんでしたが、メーカー招待の集めや小旅行には出して呉れる様になりました」最近は御主人夜の散歩の途中から電話がかかって、お預いでのバーやクラブで乾杯と云う事もあるそうですが「大体は資金不足になると電話をかけたくなるらしいのです」その故か少ししたむ様になったそうで「ジンフィズ2杯位は丁度よいですね」との事。

御主人は麻雀を覚えて約一年、今が最も魅せられている時期であるらしく、時折御帰館が深更に及ぶ事もあるそうです。主に同業のベテラン諸先輩?にもまれて「鴨がネギを背負った様のものですよ」と笑っておられます。仲々理解がおあります。弘前生れの函館育ち女学校は又弘前、御主人の両親に強く望まれて比較的早い結婚だそうで、長男は一時東京のTV専門の短大へ行っていたのですが、工事が好きで今では父君の片腕として現場で励んで居られ頼しい限りです。次男は中3、三男は小学5年と男ばかり3人のお子さんです。もう少し暇が作れて自分の時間があれば小学生の頃から好きであった油絵をやり度い由で、最近の奥様同志で生け花をやって居られ、その時だけは商売柄何かと忙しい日常から抜け出せる様な気がすると語って居られました。

(吉田要)

【慶弔】

○在今金光生電気商会主鈴木忠氏(77才)

はかねて療養中のところ10月22日歿去されました。

○在北松山町ヤマト電気工業所金本謙三

氏母堂ユウ氏(66才)10月31日病氣のため死去されました。

○11月27日 在森阿部電気商会阿部茂氏(33才)

は高圧線修理作業中誤って感電死亡されました。

【組合員の横顔】

モリヤ電飾 森谷勇一

新年に当り幸運にも1月3日が誕生日という森谷電飾の森谷さんを今回は紹介する事になりました。

大森海岸通りトヨタ工場近くの自宅二階で落着いてお話を伺う事が出来、話題の豊富な事につられて長時間お邪魔しましたので、其の一端を記します。

「大正12年生れ、函館工業機械科卒後精密機械関係の会社に就職しましたが、昭和18年当時体重僅か13貫500才から甲種合格で入隊し、技術幹部候補生となり1年半程で技術少尉に任官、戦闘機の整備関係を擔當しました。私の受持ったのは陸軍戦闘機「疾風」でした。私と同期の者約3千名は比島に於て殆ど戦死されましたが、幸いにも私は幹部候補生として内地勤務であった為、数人の仲間と共に命拾いしました。

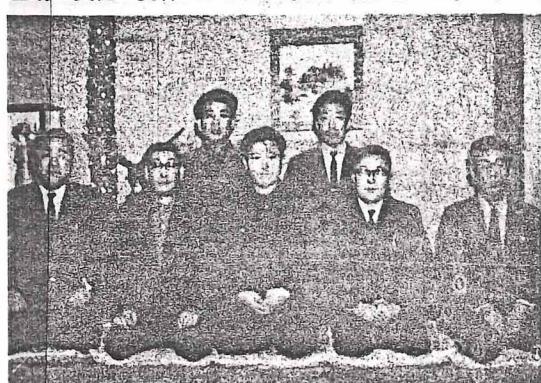
復員後配管、電気工事、石けんの行商等と転々と職をかえましたが、一時岩塩を粉碎して専売公社へ納める塩を作機械を販賣するという会社に勤めた時は、工場の希望に応じて、荷揚げ、据付け、調整と、日本各地の港を廻り乍らいろいろな事を見聞する等、種々の苦しい事や楽しい事と体験してきました。その後昭和29年頃、当時の朝日ネオに入り、本格的に電気関係の仕事に取りくむ事となりましたが、間もなく朝日ネオがつぶれ、後を引ついで経営を進めましたが、ネオだけでは生活出来ず、電気工事も手がける様になり、現在に至っています。

「いなづま」の編輯方針に甘えて、一言苦言を述べさせて貰えるならば、現在の電気工事業者、他業種の経営者に比べて稍その能力、識見に於いて見劣りの感なきにもあらずと思われます。その一例を見ますと、職人根性の小手先きの技術の自慢や、昔風の町工場の親方的な、企業の営業時間中に於ける私生活との混同、現在の経営状態に対する安易な満足感等々云いかえれば、同じ零細業であり乍ら、僅かばかりの規模の差異のみで、井の中蛙式な変な特権意識を持つということになり、各組合員の意志の疎通が阻害されている面もある様に思われます。お互に近代的経営者としての責務を果すべく努力しなければならないと痛感しておりますが、それは組合員及び従員全体の向上に役立ち、ひいては工事組合の声価を高かしめるのではないかでしょうか。」(駒井)



編集

上を見ては限りなし。下をのぞけば限りあり。
大地に足をつけよ。
「権力者は事実に遠ざかる」とかや
立場と責任の度合により夫々事実に親しむべし。(横田)



〔外線協議会臨時総会について〕

関本宏

去る9月12日十和田通常総会において現在より今後の外協の運営方法について議論が分かれ早急に役員会を経て臨時総会を開催し、決論を出すこととなっていましたが、去る10月9日13時30分より組合二階会議室に21人の外線会員出席の許に開会小寺会長議長となり審議に入り、今後の運営方法について

- 運営上の問題点として出された意見を集約すると
- 単価の値上げ要求とその交渉実現までの方法手段をどうするか。
 - 外線協としては現在の組織で果して満足できるか。
 - 特命工事の処理方法

となり会規約第3条には設立の目的として、
(イ) 観察 (ロ) 権利尊重と不利益防止

(ハ) 技術の研究 (ダ) 安全管理
(シ) 発起者との要務交渉

(エ) 其の他必要事項

とあり単価の値上げ問題を含め凡て会規約第3条によって処理することが出来てから規約改正する必要なし、との結論となつた。その具体案として

会の中に委員会を設けて具体的に検討すべきであるとの意見が出て賛成手多数により委員会を設立することとなつた。続いて交渉の方法として

組合の役員会に委員会の審議事項を提出し次いで北電之申入れる案A案、

委員会は或る程度全般的な事項は組合より一任を取りつけ交渉するようすにすべき案B案の二案が提出され論議の結果A案賛成5人よりもなく、B案を採用することとなつた。

次いで、役員改選に入り幹事を2名増加することとなり、投票により次いで互選によって下記の通り決定をみた。

会長	小寺 寛一	副会長	松荒 開梶
副会長	佐藤 輝夫	幹事	崎井 義孝
幹事	平沼 智子	幹事	本原 邦夫
幹事	谷 義一	監査	大庭 喬

次いで委員会の構成は、

会長以下7名の副会長幹事で構成することとなつた。既ち問題点を委員会で検討審議の上総会を招集する必要あるときは、之を開催し議決の上交渉することとする案、大きな問題は組合問題として、小さな問題は外協委員会で、一括北電を交渉する案等、意見が提出され論議されたが、B案議決の通り、後日組合役員会に之を提出して、基本的に承認して貰うこととなり18時20分一応大会を終了し懇談会に移る。

後記

千円で やる奴 蔵建て エビス顔

弐千で やる奴 四苦八苦

(工藤義)

自分では、若いと思っている内に頭はゴマ塩、従業員からは親爺さん、と呼ばれまったく月日の経つのは早いものだ。電気屋を始めてから、二十年、でも業界の経営者の平均年令が43才との事私も丁度平均年令になりました。(佐藤輝夫)
年後半より編集員の末席をけがして無意無策に終る、来年こそはと? 皆様の御指導と御協力をお願いします。(平松)
待ってくれない時間、利を追わない利。(佐々木三)

◎毎年毎に 色気とアルコールの量が反比例してきました。
異常? 正常?

◎山高きが故に貴とからず、樹あるを以て貴としとなす。
(駒井)

薬になる灸は熱く、毒になる酒は甘い組合員の皆様、絶えず、我々に『お灸』を、すべて『いなづま』の体力づけを、御願いします。(猪股)

醉生夢死。生きるとは、夢みることのようだ。夢に酔いながら死生を渡ることが賢明だ。新しくこころよい夢を年々みましょう。(荒井)